

# 基準寝具貸借特記仕様書

## 1 貸借の場所

埼玉県北足立郡伊奈町大字小室780番地及び818番地

埼玉県立がんセンター（病院棟、研究棟、もりの保育園）

※回収・納品の詳細については別紙1を参照

## 2 貸借の内容

受注者は、基準寝具明細書に定める寝具類（以下「寝具類」という。）を発注者に提供するものとする。

## 3 寝具類の組数

- (1) 受注者が発注者に常に用意しなければならない病床用寝具類の組数は503組とする。
- (2) 受注者が発注者に常に用意しなければならないその他の寝具類の組数は、別紙1のとおりとする。
- (3) 上記(1)、(2)以外に、受注者は、発注者の寝具交換時に足りるよう、十分な数の寝具を用意しなければならない。

## 4 業務の手順

- (1) 受注者は、各病棟、研究棟、保育所及び指定箇所へ寝具類の回収にまわり、各箇所の容器から袋のまま取り出し回収、洗濯済の新しい袋をつけてくること。また、不潔リネン室及び感染リネン室でその員数を確認、伝票に記入するものとする。
- (2) 回収した寝具類袋は、不潔リネン室で整理仕分けした後に、搬出するものとする。
- (3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第1項の規定による一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症の患者の使用した寝具類並びに血痕、膿及び分泌物等の汚物が付着した寝具類（以下「感染性寝具類」という。）については感染リネン室にて整理仕分け作業をする。

新型コロナウイルス感染症又は疑似症患者の寝具類の取扱いについては、令和2年4月24日付け厚生労働省医政局地域医療計画課事務連絡に基づき寝具類に500ppm以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムを近距離でまんべんなく吹き付けした上で、黄色い袋に入れ透明なビニール袋で二重に密閉し、外側を500ppm以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムで清拭された状態の物を回収し洗濯するものとする。

なお、未知のウイルス、感染症をはじめ、上記により難しい場合についても、別途協議するものとする。

- (4) 受注者は、付添寝具類の交換を依頼の都度、必要に応じ行うものとする。
- (5) 受注者は、当直用寝具類の交換を毎日行うものとする。この際、集積箇所の使用済み寝具を回収し、各室ベッド上に納品するものとする。

- (6) 受注者は、寝具類の日計表（発注者が認めた様式）及び作業記録簿（発注者が認めた様式）に記帳し、翌日発注者に提出するものとする。
- (7) 寝具類は①清潔リネン庫にて保管し②各部署には必要枚数を指定された場所に準備すること。

## 5 作業員の配置

次のとおり回収・納入ができるよう作業員を配置すること。

- (1) 月曜日から土曜日まで（国民の祝日を除く。）午前8時30分から午後5時まで。  
なお、日曜日、国民の祝日等により連続して2日以上続く場合があっても、2日以上作業を行わない日がないこと。
- (2) 次の場合は午前8時30分から午後3時までの間に回収・納入業務を行うこと。ただし、年末年始等の回収・納品時間については協議による。
- ・ 土曜日
  - ・ 日曜日、国民の祝日が連続して2日以上続く場合、その期間中に回収・納入業務を行う日。
  - ・ 12月29日から1月3日まで

## 6 寝具類の納入検査

受注者は、寝具類を納入する場合は、その都度監督員の検査を受けなければならない。  
この場合、検査に不合格のものは、速やかに交換し再検査を受けなければならない。  
また、納入する寝具類には、発注者の所有物と区別できるように、目印等を付すこと。

## 7 寝具類の洗濯及び補修等

- (1) 寝具類の洗濯及び補修等については、寝具明細書（別紙1）に従い受注者の負担において実施し、衛生的かつ清潔なものを提供するものとする。
- (2) 受注者は、平成5年2月15日付け指第14号厚生省健康対策局指導課長通知に定める衛生基準に従い寝具類を適正に処理しなければならない。
- (3) 受注者は、感染性寝具類を発注者の所有する熱水洗濯機で熱水消毒を行うものとする。また、寝具類に血痕、膿及び分泌物等の汚物が付着した場合は、受注者が除去処分するものとする。

## 8 業務従事者名簿

受注者は、寝具類の賃貸借に従事する作業者の名簿を発注者に提出し、承認を受けなければならない。作業員を変更した場合も同様とする。

## 9 守秘義務

作業者は、職務上知り得た発注者の秘密については、他に漏らしてはならない。

## 10 賃貸借実施済確認願

受注者は、その月の賃貸借が終了したときは、賃貸借実施済確認願を1通検査員に提

出し承認印を受け、賃借料支払請求書に添付するものとする。また、その書類は納品書をもって代えることが出来る。

#### 11 負担区分

- (1) 電力・給水・給湯等の費用及び滅菌消毒用設備の修理費用は、発注者の負担とする。ただし、明らかに受注者に起因する設備等の不具合に関しては、受注者の負担とする。
- (2) 搬入搬出場所までの往復に要する費用や業務に必要な資材、書類、伝票等は、受注者の負担とする。
- (3) 各部署から不潔リネン室への回収用のカート、感染性寝具類等回収用のカート、各部署への清潔寝具類の納入用のカートは受注者の負担とする。回収用及び納入用のカートは、十分な数を用意すること。カートは消毒薬（アルコール・次亜塩素酸ナトリウム等）で清拭しても劣化しない物であって、ふたを閉じることができる物を準備すること。
- (4) 新型コロナウイルスに感染する危険のある洗濯物を入れる寝具類を入れる黄色い袋は、受注者の負担とする。

#### 12 その他

- (1) 受注者は、寝具類の賃貸借に従事する作業員に名札を付けさせ、専用の作業服を着用させるなどして、部外者と誤認されないよう配慮すること。
- (2) 作業員の休憩等は、発注者の指定した場所において行うものとする。
- (3) 作業員の健康を保持するためのB型肝炎、流行性ウイルス疾患抗体価検査及びワクチン接種料は受注者の負担とする。
- (4) 作業服は毎日洗濯したものを着用すること。
- (5) 不潔リネン室、感染リネン洗濯機室、クリーンリネン室、クリーンリネンカート置き場、休憩室は常に清潔を維持し整理整頓に努めること。
- (6) 作業日報を作成後速やかに報告、提出すること。

#### 13 定めのない事項

この特記仕様書は、埼玉県立がんセンターの基準寝具賃貸借の概要を示すものであって、ここに記載されていない細部の事項については、発注者と受注者が協議し決定する。